

公益社団法人砂防学会

代議員 各位

公益社団法人 砂防学会
会 長 山田 孝



令和 7 年度定時社員総会開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃から当学会活動へのご支援ご協力ありがとうございます。

さて、公益社団法人砂防学会令和 7 年度定時社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席方お願い申し上げます。

なお、砂防学会 HP へ掲載しております総会議案書をご高覧の上、お手数ながら別紙「回答書」を 6 月 9 日（月）までにメール又は F A Xにてご返信いただきたくお願い申し上げます。

記

日 時 令和 7 年 6 月 11 日（水）15：00～16：00（予定）

場 所 砂防会館別館 3F 穂高会議室
東京都千代田区平河町 2-7-4 TEL:03-3261-8386

議 案 第 1 号議案 令和 6 年度収支決算の承認を求める件
第 2 号議案 定款の変更承認を求める件
第 3 号議案 第 8 期役員候補者推薦委員の選任を求める件

（報告事項） 第 1 号報告 令和 6 年度事業報告の件
第 2 号報告 令和 7 年度事業計画の報告の件
第 3 号報告 令和 7 年度収支予算の報告の件

※本総会案内は、当学会の社員である代議員の方にご通知しています。

なお、総会后、砂防学会元会長である海堀正博先生（広島大学名誉教授）の講演会、山火事緊急調査報告会を開催いたします。一般の方も参加可能です。

以 上

お問い合わせ

公益社団法人砂防学会

事務局長 酒谷 幸彦

電話：03-3222-0747

E-Mail：sabo274@abox3.so-net.ne.jp

(E-mail:sabo274@abox3.so-net.ne.jp)

(FAX 03-3230-6759)

公益社団法人砂防学会

会長 山田 孝 殿

(公社) 砂防学会令和7年度定時社員総会
委任状・議決権行使書

令和7年6月11日(水)開催の公益社団法人砂防学会令和7年度定時社員総会について、以下の通りお知らせ致します。

支部名	代議員氏名	印
(会員番号：)		

令和7年度定時社員総会について

※該当の番号に☑の上、ご記入をお願い致します。

□1. 委任状

私は、議長に議決権の一切を委任します。

□2. 議決権行使書

私は定時社員総会出席に代え、以下の通り書面で議決権を行使します。

(各議案毎に、承認・否認のいずれかに「○」をつけて下さい。)

◎第1号議案	承認	・	否認
◎第2号議案	承認	・	否認
◎第3号議案	承認	・	否認

令和 7 年度定時社員総会



令和 7 年 6 月 11 日

砂防会館別館（東京都千代田区）

公益社団法人砂防学会

目 次

第 1 号議案	令和 6 年度収支決算の承認を求める件 ……………	1
第 2 号議案	定款の変更承認を求める件 ……………	20
第 3 号議案	第 8 期役員候補者推薦委員の選任を求める件 ……………	22
第 1 号報告	令和 6 年度事業報告の件 ……………	24
第 2 号報告	令和 7 年度事業計画の報告の件 ……………	45
第 3 号報告	令和 7 年度収支予算の報告の件 ……………	49

令和 7 年度公益社団法人砂防学会定時社員総会次第

日 時 令和 7 年 6 月 11 日（水） 15 時～16 時

場 所 砂防会館別館 会議室「穂高」（東京都千代田区）

開 会

1. 会長挨拶

2. 来賓挨拶

3. 議 題

（議事録署名人選任）

【審議事項】

第 1 号議案 令和 6 年度収支決算の承認を求める件

第 2 号議案 定款の変更承認を求める件

第 3 号議案 第 8 期役員候補者推薦委員の選任を求める件

【報告事項】

第 1 号報告 令和 6 年度事業報告の件

第 2 号報告 令和 7 年度事業計画の報告の件

第 3 号報告 令和 7 年度収支予算の報告の件

閉 会

2025/4/8時点

公益社団法人砂防学会 会員実勢

	令和7年度期首	令和6年度期首	増減 (人数)
(会員種別)			
正会員	1,938	1,909	29増
個人 国内	1,927	1,899	28増
個人 海外	11	10	1増
購読会員	183	184	1減
名誉会員	7	2	5増
学生会員	123	124	1減
賛助会員	210	210	増減無
特級	20	20	増減無
一級	27	28	1減
二級	40	39	1増
三級	123	123	増減無

審議事項

第 1 号議案

令和 6 年度収支決算の承認を求める件

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	45,175,581	47,348,598	△2,173,017
現 金	109,644	217,590	△107,946
郵 便 振 替 金	18,323,861	8,210,870	10,112,991
郵 便 貯 金	479,741	479,663	78
普 通 預 金	21,262,335	33,440,475	△12,178,140
定 期 預 金	5,000,000	5,000,000	
未 収 金	2,042,180	1,427,680	614,500
前 払 金	2,381,942	1,013,530	1,368,412
仮 払 金	10,000	10,000	
流 動 資 産 合 計	49,609,703	49,799,808	△190,105
固 定 資 産			
基 本 財 産			
定 期 預 金	30,000,000	30,000,000	
基 本 財 産 合 計	30,000,000	30,000,000	0
特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	12,569,668	11,219,668	1,350,000
減 価 償 却 引 当 資 産	698,620	698,620	
特 定 資 産 合 計	13,268,288	11,918,288	1,350,000
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	4	4	
敷	1,120,000	1,120,000	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,120,004	1,120,004	0
固 定 資 産 合 計	44,388,292	43,038,292	1,350,000
資 産 合 計	93,997,995	92,838,100	1,159,895
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	3,853,544	2,838,010	1,015,534
前 受 金	4,428,000	3,966,000	462,000
預 り 金	196,842	290,666	△93,824
未 払 消 費 税 等	358,400	1,064,100	△705,700
流 動 負 債 合 計	8,836,786	8,158,776	678,010
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	12,569,668	11,219,668	1,350,000
固 定 負 債 合 計	12,569,668	11,219,668	1,350,000
負 債 合 計	21,406,454	19,378,444	2,028,010
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	72,591,541	73,459,656	△868,115
（うち基本財産への充当額）		(30,000,000)	(△30,000,000)
（うち特定資産への充当額）		(11,918,288)	(△11,918,288)
正 味 財 産 合 計	72,591,541	73,459,656	△868,115
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	93,997,995	92,838,100	1,159,895

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	601	600	1
基本財産受取利息	601	600	1
受取会費	26,835,000	28,073,000	△1,238,000
正会員受取会費	16,973,000	17,999,000	△1,026,000
購読会員受取会費	1,095,000	1,154,000	△59,000
学生会員受取会費	357,000	410,000	△53,000
賛助会員受取会費	8,410,000	8,510,000	△100,000
事業収益	28,101,077	34,924,902	△6,823,825
出版事業収益	7,329,827	9,097,102	△1,767,275
研究発表会開催収益	15,653,750	16,079,800	△426,050
講習会等開催収益	1,124,500	1,246,000	△121,500
受託事業収益	2,002,000	5,841,000	△3,839,000
資格認定事業収益	1,991,000	2,661,000	△670,000
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0
受取民間助成金	4,000,000	4,000,000	
受取寄付金	0	5,000,000	△5,000,000
受取寄付金		5,000,000	△5,000,000
雑収益	62,735	100,797	△38,062
受取利息	11,985	268	11,717
雑収益	50,750	100,529	△49,779
經常収益計	58,999,413	72,099,299	△13,099,886
經常費用			
事業費	47,661,567	51,872,686	△4,211,119
給料手当	5,275,768	5,076,598	199,170
福利厚生費	921,248	909,308	11,940
旅費交通費	634,550	604,644	29,906
通信運搬費	224,483	369,227	△144,744
支払手数料	944,485	909,972	34,513
消耗品費	34,396	78,410	△44,014
会議費	109,034	101,635	7,399
印刷製本費	107,240	158,623	△51,383
光熱水料	27,925	25,124	2,801
賃借料	1,362,237	1,380,390	△18,153
諸謝金	201,000	461,000	△260,000
租税公課	2,200	2,200	
委託費	3,600,000	3,600,000	
編集部	302,048		302,048
国際部	601,960		601,960
事業部	168,037	497,070	△329,033
総務部	82,656	115,830	△33,174
出版事業費	14,305,393	16,881,760	△2,576,367
図書館運営費	1,100,440	1,100,000	440
研究発表会等開催費	10,479,300	14,420,712	△3,941,412
研究費	4,046,213	2,379,175	1,667,038
表彰制度運営費	162,397	125,720	36,677
資格認定事業費	1,983,408	2,164,879	△181,471
支部活動費	968,649	493,909	474,740
雑費	16,500	16,500	
管理費	12,205,961	12,961,379	△755,418
給料手当	5,275,768	5,076,598	199,170
退職給付費用	1,350,000	1,336,147	13,853

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	921,248	909,309	11,939
会 議 費	109,034	89,985	19,049
旅 費 交 通 費	471,391	428,464	42,927
通 信 運 搬 費	224,483	369,228	▲144,745
支 払 手 数 料	939,576	898,673	40,903
消 耗 品 費	34,396	78,411	▲44,015
印 刷 製 本 費	107,241	158,623	▲51,382
光 熱 水 料 費	27,926	25,125	2,801
賃 借 料	1,362,237	1,380,390	▲18,153
租 税 公 課	1,053,041	1,383,800	▲330,759
役 員 改 選 費		570,126	▲570,126
支 払 負 担 金	313,120	240,000	73,120
雑 費	16,500	16,500	
経 常 費 用 計	59,867,528	64,834,065	▲4,966,537
評価損益等調整前当期経常増減額	▲868,115	7,265,234	▲8,133,349
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	▲868,115	7,265,234	▲8,133,349
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	▲868,115	7,265,234	▲8,133,349
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	73,459,656	66,194,422	7,265,234
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	72,591,541	73,459,656	▲868,115
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	72,591,541	73,459,656	▲868,115

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

（単位： 円）

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		法 人 会 計	
	調 査 研 究 ・ 技 術 者 育 成 事 業	小 計	法 人 会 計	小 計
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	601	601	0	0
基本財産受取利息	601	601		
受取会費	24,624,000	24,624,000	2,211,000	2,211,000
正会員受取会費	14,936,240	14,936,240	2,036,760	2,036,760
購読会員受取会費	963,600	963,600	131,400	131,400
学生会員受取会費	314,160	314,160	42,840	42,840
賛助会員受取会費	8,410,000	8,410,000		
事業収益	28,101,077	28,101,077	0	0
出版事業収益	7,329,827	7,329,827		
研究発表会開催収益	15,653,750	15,653,750		
講習会等開催収益	1,124,500	1,124,500		
受託事業収益	2,002,000	2,002,000		
資格認定事業収益	1,991,000	1,991,000		
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0	0
受取民間助成金	4,000,000	4,000,000		
雑収益	61,297	61,297	1,438	1,438
受取利息	10,547	10,547	1,438	1,438
雑収益益	50,750	50,750		
經常収益計	56,786,975	56,786,975	2,212,438	2,212,438
經常費用				
事業費	47,661,567	47,661,567	0	0
給料手当	5,275,768	5,275,768		
福利厚生費	921,248	921,248		
旅費交通費	634,550	634,550		
通信運搬費	224,483	224,483		
支払手数料	944,485	944,485		
消耗品費	34,396	34,396		
会議費	109,034	109,034		
印刷製本費	107,240	107,240		
光熱水料費	27,925	27,925		
賃借料	1,362,237	1,362,237		
諸謝金	201,000	201,000		
租税公課	2,200	2,200		
委託費	3,600,000	3,600,000		
編集部	302,048	302,048		
国際部	601,960	601,960		
事業部	168,037	168,037		
総務部	82,656	82,656		
出版事業費	14,305,393	14,305,393		
図書館運営費	1,100,440	1,100,440		
研究発表会等開催費	10,479,300	10,479,300		
研究費	4,046,213	4,046,213		
表彰制度運営費	162,397	162,397		
資格認定事業費	1,983,408	1,983,408		
支部活動費	968,649	968,649		
雑費	16,500	16,500		
管理費	9,734,387	9,734,387	2,471,574	2,471,574
給料手当	4,484,403	4,484,403	791,365	791,365
退職給付費用	1,147,500	1,147,500	202,500	202,500
福利厚生費	783,061	783,061	138,187	138,187
会議費	92,679	92,679	16,355	16,355

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

（単位： 円）

科 目	内部取引等消去	合 計		
I 一般正味財産増減の部				
経 常 増 減 の 部				
経 常 収 益				
基 本 財 産 運 用 益	0	601		
基 本 財 産 受 取 利 息		601		
受 取 会 費	0	26,835,000		
正 会 員 受 取 会 費		16,973,000		
購 読 会 員 受 取 会 費		1,095,000		
学 生 会 員 受 取 会 費		357,000		
賛 助 会 員 受 取 会 費		8,410,000		
事 業 収 益	0	28,101,077		
出 版 事 業 収 益		7,329,827		
研 究 発 表 会 開 催 収 益		15,653,750		
講 習 会 等 開 催 収 益		1,124,500		
受 託 事 業 収 益		2,002,000		
資 格 認 定 事 業 収 益		1,991,000		
受 取 補 助 金 等	0	4,000,000		
受 取 民 間 助 成 金		4,000,000		
雑 収 益	0	62,735		
受 取 利 息 益		11,985		
雑 収 益 計		50,750		
経 常 収 益 計	0	58,999,413		
経 常 費 用				
事 業 費	0	47,661,567		
給 料 手 当		5,275,768		
福 利 厚 生 費		921,248		
旅 費 交 通 費		634,550		
通 信 運 搬 費		224,483		
支 払 手 数 料		944,485		
消 耗 品 費		34,396		
会 議 費		109,034		
印 刷 製 本 費		107,240		
光 熱 水 料 費		27,925		
賃 借 料 金		1,362,237		
諸 謝 金		201,000		
租 税 公 課		2,200		
委 託 費		3,600,000		
編 集 部		302,048		
国 際 部		601,960		
事 業 部		168,037		
総 務 部		82,656		
出 版 事 業 費		14,305,393		
図 書 館 運 営 費		1,100,440		
研 究 発 表 会 等 開 催 費		10,479,300		
研 究 費		4,046,213		
表 彰 制 度 運 営 費		162,397		
資 格 認 定 事 業 費		1,983,408		
支 部 活 動 費		968,649		
雑 費		16,500		
管 理 費	0	12,205,961		
給 料 手 当		5,275,768		
退 職 給 付 費		1,350,000		
福 利 厚 生 費		921,248		
会 議 費		109,034		

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		法 人 会 計	
	調 査 研 究 ・ 技 術 者 育 成 事 業	小 計	法 人 会 計	小 計
旅 費 交 通 費	400,683	400,683	70,708	70,708
通 信 運 搬 費	190,811	190,811	33,672	33,672
支 払 手 数 料			939,576	939,576
消 耗 品 費	29,237	29,237	5,159	5,159
印 刷 製 本 費	91,155	91,155	16,086	16,086
光 熱 水 料 費	23,738	23,738	4,188	4,188
賃 借 料	1,157,902	1,157,902	204,335	204,335
租 税 公 課	1,053,041	1,053,041		
支 払 負 担 金	266,152	266,152	46,968	46,968
雑 費	14,025	14,025	2,475	2,475
経 常 費 用 計	57,395,954	57,395,954	2,471,574	2,471,574
評価損益等調整前当期経常増減額	△608,979	△608,979	△259,136	△259,136
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△608,979	△608,979	△259,136	△259,136
経 常 外 増 減 の 部				
経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0
経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△608,979	△608,979	△259,136	△259,136
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	6,542,012	6,542,012	66,917,644	66,917,644
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	5,933,033	5,933,033	66,658,508	66,658,508
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	5,933,033	5,933,033	66,658,508	66,658,508

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

（単位： 円）

科 目	内部取引等消去	合 計		
旅 費 交 通 費		471,391		
通 信 運 搬 費		224,483		
支 払 手 数 料		939,576		
消 耗 品 費		34,396		
印 刷 製 本 費		107,241		
光 熱 水 料 費		27,926		
賃 借 料		1,362,237		
租 税 公 課		1,053,041		
支 払 負 担 金		313,120		
雑 費		16,500		
経 常 費 用 計	0	59,867,528		
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△868,115		
評価損益等計	0	0		
当期経常増減額	0	△868,115		
経 常 外 増 減 の 部				
経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0		
経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0		
当期経常外増減額	0	0		
当期一般正味財産増減額	0	△868,115		
一般正味財産期首残高	0	73,459,656		
一般正味財産期末残高	0	72,591,541		
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		
指定正味財産期首残高	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0		
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	0	72,591,541		

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流 動 資 産)			
現 便 振 金	手元保管	運転資金	109,644
郵 便 貯 金	ゆうちょ銀行	運転資金	18,323,861
郵 便 貯 金	ゆうちょ銀行	運転資金	479,741
普 通 預 金	三菱UFJ銀行	運転資金	11,330,003
	麹町支店		
	みずほ銀行	運転資金	9,932,332
	麹町支店		
定 期 預 金	三菱UFJ銀行	運転資金	5,000,000
	麹町支店		
未 収 金		砂防学会誌広告料	846,680
		刊行物代金	629,000
		受託事業収入	566,500
前 払 金		令和7年度研究発表会等開催費等	1,223,542
		環太平洋インターリベント2026共催金	1,000,000
	(一社)全国治水砂防協会	令和7年4月分事務局家賃	158,400
仮 払 金		受託事業会議費等	10,000
流 動 資 産 合 計			49,609,703
(固 定 資 産)			
基 本 財 産	定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行	公益目的保有財産であり、運用益を調査研究・技術者育成事業の財源として使用している。
		麹町支店	
特 定 資 産	退 職 給 付 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行	職員の退職金支払いの財源として積み立てている。
		麹町支店	
	減 価 償 却 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行	備品等購入の財源とするために積み立てている資産であり、資産取得資金として管理されている。
		麹町支店	
そ の 他 固 定 資 産	什 器 備 品	パソコン他	事務局で使用している財産である。
	敷	(一社)全国治水砂防協会	事務局の賃借に伴う保証金である。
固 定 資 産 合 計			44,388,292
資 産 合 計			93,997,995
(流 動 負 債)	未 払 金		学会誌377号関連支出
			国際部会海外学術調査費
			社会保険料
			その他
	前 受 金		令和7年度以降会費収入
	預 り 金		源泉所得税等
	未 払 消 費 税 等		消費税等令和6年度確定税額
流 動 負 債 合 計			8,836,786
(固 定 負 債)	退 職 給 付 引 当 金		令和6年度期末要支給額
固 定 負 債 合 計			12,569,668
負 債 合 計			21,406,454
正 味 財 産			72,591,541

附属明細書

法人名：公益社団法人砂防学会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産	退職給付引当資産	11,219,668	1,350,000	0	12,569,668
	減価償却引当資産	698,620	0	0	698,620

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	11,219,668	1,350,000	0	0	12,569,668

収 支 予 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	600	600	0
基本財産受取利息	600	600	
受取会費	26,636,000	26,818,500	▲182,500
正会員受取会費	16,900,000	16,992,500	▲92,500
購読会員受取会費	1,152,000	1,152,000	
学生会員受取会費	384,000	384,000	
賛助会員受取会費	8,200,000	8,290,000	▲90,000
事業収益	30,580,000	28,380,000	2,200,000
出版事業収益	7,000,000	5,800,000	1,200,000
研究発表会開催収益	15,480,000	17,430,000	▲1,950,000
講習会等開催収益	1,800,000	300,000	1,500,000
受託事業収益	4,500,000	2,000,000	2,500,000
資格認定事業収益	1,800,000	2,850,000	▲1,050,000
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0
受取民間助成金	4,000,000	4,000,000	
受取寄付金	100,000	100,000	0
受取寄付金	100,000	100,000	
雑収益	200	200	0
受取利息	200	200	
經常収益計	61,316,800	59,299,300	2,017,500
經常費用			
事業費	49,750,000	48,410,000	1,340,000
給料手当	5,100,000	4,680,000	420,000
福利厚生費	880,000	700,000	180,000
旅費交通費	750,000	750,000	
通信運搬費	350,200	350,200	
支払手数料	900,000	900,000	
消耗品費	50,000	50,000	
会議費	200,000	200,000	
印刷製本費	90,000	90,000	
光熱水料	25,000	25,000	
賃借料	1,375,000	1,375,000	
諸謝金	600,000	600,000	
租税公課	50,400	50,400	
委託費	3,600,000	3,600,000	
研究開発部	50,000	120,000	▲70,000
編集部	400,000	400,000	
国際部	50,000	50,000	
事業部	50,000	50,000	
総務部	120,000	120,000	
出版事業費	16,000,000	15,100,000	900,000
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	
研究発表会等開催費	11,140,000	12,000,000	▲860,000
研究費	3,920,000	3,200,000	720,000
表彰制度運営費	130,000	100,000	30,000
資格認定事業費	2,000,000	2,000,000	
支部活動費	770,000	750,000	20,000
雑費	49,400	49,400	
管理費	12,591,300	10,889,300	1,702,000
給料手当	5,100,000	4,680,000	420,000
退職給付費用	1,350,000	1,600,000	▲250,000

収 支 予 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
福 利 厚 生 費	880,000	700,000	180,000
会 議 費	180,000	180,000	
旅 費 交 通 費	600,000	600,000	
通 信 運 搬 費	350,000	350,000	
支 払 手 数 料	1,890,000	890,000	1,000,000
消 耗 品 費	50,000	50,000	
印 刷 製 本 費	90,000	90,000	
光 熱 水 料 費	25,000	25,000	
賃 借 料	1,375,000	1,375,000	
租 税 公 課	452,000	50,000	402,000
役 員 改 選 費		50,000	▲50,000
支 払 負 担 金	220,000	220,000	
雑 費	29,300	29,300	
経 常 費 用 計	62,341,300	59,299,300	3,042,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲1,024,500	0	▲1,024,500
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	▲1,024,500	0	▲1,024,500
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	▲1,024,500	0	▲1,024,500
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	73,459,656	66,194,422	7,265,234
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	72,435,156	66,194,422	6,240,734
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	72,435,156	66,194,422	6,240,734

収支予算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		法 人 会 計	
	調 査 研 究 ・ 技 術 者 育 成 事 業	小 計	法 人 会 計	小 計
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	600	600	0	0
基本財産受取利息	600	600		
受取会費	24,423,680	24,423,680	2,212,320	2,212,320
正会員受取会費	14,872,000	14,872,000	2,028,000	2,028,000
購読会員受取会費	1,013,760	1,013,760	138,240	138,240
学生会員受取会費	337,920	337,920	46,080	46,080
賛助会員受取会費	8,200,000	8,200,000		
事業収益	30,580,000	30,580,000	0	0
出版事業収益	7,000,000	7,000,000		
研究発表会開催収益	15,480,000	15,480,000		
講習会等開催収益	1,800,000	1,800,000		
受託事業収益	4,500,000	4,500,000		
資格認定事業収益	1,800,000	1,800,000		
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0	0
受取民間助成金	4,000,000	4,000,000		
受取寄付金	100,000	100,000	0	0
受取寄付金	100,000	100,000		
雑収益	200	200	0	0
受取利息	200	200		
經常収益計	59,104,480	59,104,480	2,212,320	2,212,320
經常費用				
事業費	49,750,000	49,750,000	0	0
給料手当	5,100,000	5,100,000		
福利厚生費	880,000	880,000		
旅費交通費	750,000	750,000		
通信運搬費	350,200	350,200		
支払手数料	900,000	900,000		
消耗品費	50,000	50,000		
会議費	200,000	200,000		
印刷製本費	90,000	90,000		
光熱水料費	25,000	25,000		
賃借料	1,375,000	1,375,000		
諸謝金	600,000	600,000		
租税公課	50,400	50,400		
委託費	3,600,000	3,600,000		
研究開発部	50,000	50,000		
編集部	400,000	400,000		
国際部	50,000	50,000		
事業部	50,000	50,000		
総務部	120,000	120,000		
出版事業費	16,000,000	16,000,000		
図書館運営費	1,100,000	1,100,000		
研究発表会等開催費	11,140,000	11,140,000		
研究費	3,920,000	3,920,000		
表彰制度運営費	130,000	130,000		
資格認定事業費	2,000,000	2,000,000		
支部活動費	770,000	770,000		
雑費	49,400	49,400		
管理費	10,702,605	10,702,605	1,888,695	1,888,695
給料手当	4,335,000	4,335,000	765,000	765,000
退職給付費用	1,147,500	1,147,500	202,500	202,500

収支予算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

（単位： 円）

科 目	内部取引等消去	合 計		
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	0	600		
基本財産受取利息		600		
受取会費	0	26,636,000		
正会員受取会費		16,900,000		
購読会員受取会費		1,152,000		
学生会員受取会費		384,000		
賛助会員受取会費		8,200,000		
事業収益	0	30,580,000		
出版事業収益		7,000,000		
研究発表会開催収益		15,480,000		
講習会等開催収益		1,800,000		
受託事業収益		4,500,000		
資格認定事業収益		1,800,000		
受取補助金等	0	4,000,000		
受取民間助成金		4,000,000		
受取寄付金	0	100,000		
受取寄付金		100,000		
雑収益	0	200		
受取利息		200		
經常収益計	0	61,316,800		
經常費用				
事業費	0	49,750,000		
給料手当		5,100,000		
福利厚生費		880,000		
旅費交通費		750,000		
通信搬送料		350,200		
支払手数料		900,000		
消耗品費		50,000		
会議費		200,000		
印刷製本費		90,000		
光熱水料		25,000		
賃借料		1,375,000		
諸謝金		600,000		
租税公課		50,400		
委託費		3,600,000		
研究開発部		50,000		
編集部		400,000		
国際部		50,000		
事業部		50,000		
総務部		120,000		
出版事業費		16,000,000		
図書館運営費		1,100,000		
研究発表会等開催費		11,140,000		
研究費		3,920,000		
表彰制度運営費		130,000		
資格認定事業費		2,000,000		
支部活動費		770,000		
雑費		49,400		
管理費	0	12,591,300		
給料手当		5,100,000		
退職給付費用		1,350,000		

収支予算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		法 人 会 計	
	調 査 研 究 ・ 技 術 者 育 成 事 業	小 計	法 人 会 計	小 計
福 利 厚 生 費	748,000	748,000	132,000	132,000
会 議 費	153,000	153,000	27,000	27,000
旅 費 交 通 費	510,000	510,000	90,000	90,000
通 信 運 搬 費	297,500	297,500	52,500	52,500
支 払 手 数 料	1,606,500	1,606,500	283,500	283,500
消 耗 品 費	42,500	42,500	7,500	7,500
印 刷 製 本 費	76,500	76,500	13,500	13,500
光 熱 水 料 費	21,250	21,250	3,750	3,750
賃 借 料	1,168,750	1,168,750	206,250	206,250
租 税 公 課	384,200	384,200	67,800	67,800
支 払 負 担 金	187,000	187,000	33,000	33,000
雑 費	24,905	24,905	4,395	4,395
経 常 費 用 計	60,452,605	60,452,605	1,888,695	1,888,695
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△1,348,125	△1,348,125	323,625	323,625
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△1,348,125	△1,348,125	323,625	323,625
経 常 外 増 減 の 部				
経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0
経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△1,348,125	△1,348,125	323,625	323,625
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	6,542,012	6,542,012	66,917,644	66,917,644
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	5,193,887	5,193,887	67,241,269	67,241,269
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	5,193,887	5,193,887	67,241,269	67,241,269

収支予算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日（決算）まで

法人名：公益社団法人砂防学会

（単位： 円）

科 目	内部取引等消去	合 計		
福 利 厚 生 費		880,000		
会 議 費		180,000		
旅 費 交 通 費		600,000		
通 信 運 搬 費		350,000		
支 払 手 数 料		1,890,000		
消 耗 品 費		50,000		
印 刷 製 本 費		90,000		
光 熱 水 料 費		25,000		
賃 借 料		1,375,000		
租 税 公 課		452,000		
支 払 負 担 金		220,000		
雑 費		29,300		
経 常 費 用 計	0	62,341,300		
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	0	Δ1,024,500		
評 価 損 益 等 計	0	0		
当 期 経 常 増 減 額	0	Δ1,024,500		
経 常 外 増 減 の 部				
経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0		
経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0		
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0		
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	0	Δ1,024,500		
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	73,459,656		
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	0	72,435,156		
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0		
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0		
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0		
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	0	72,435,156		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成 20 年 12 月 1 日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基いて計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	11,219,668	1,350,000	0	12,569,668
減価償却引当資産	698,620		0	698,620
学術国際協力事業積立資産	0	0	0	0
小計	11,918,288	1,350,000	0	13,268,288
合計	41,918,288	1,350,000	0	43,268,288

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
小計	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	12,569,668	(0)	(0)	(12,569,668)
減価償却引当資産	698,620	(0)	(698,620)	(0)
学術国際協力事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
小計	13,268,288	(0)	(698,620)	(12,569,668)
合計	41,918,288	(0)	(30,698,620)	(12,569,668)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
机、椅子、金庫	99,825	99,824	1
パソコン 日本ゲートウェイ	264,815	264,814	1
プリンター キヤノン LASER SHOT LBP-1610	105,819	105,818	1
パソコン エプソン	228,165	228,164	1
合計	698,624	698,620	4

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交 付 者	前期末 残 高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
助成金	(一社)全国治水砂防協会	0	2,000,000	2,000,000	0	流動資産
	(一財)砂防・地すべり技術 センター	0	2,000,000	2,000,000	0	流動資産
計		0	4,000,000	4,000,000	0	

監査報告書

令和7年4月30日

公益社団法人 砂防学会
代表理事 山 田 孝 殿

監事 田下 昌志 
監事 長井 隆幸 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

審議事項

第2号議案

定款の変更承認を求める件

公益社団法人砂防学会定款改定案

改訂案を赤字で示す。

第9章 役員推薦委員会

(役員候補者推薦委員会)

第41条 この法人に、役員候補者推薦委員会（以下「推薦委員会」という。）を置くことができる。

2 推薦委員会は、第26条第1項の役員の選任に関し、推薦候補者の推薦を行う。

3 推薦委員会は、社員総会で選出された正会員又は名誉会員8名以内の委員で構成する。

4 推薦委員会に関する事項は、理事会において定める。

付 則

1 この定款は令和7年6月11日より施行する。

審議事項

第3号議案

第8期役員候補者推薦委員の選任を求める件

第 8 期役員候補者推薦委員会委員案

石川 芳治 東京農工大学名誉教授

大野 宏之 (一社) 全国治水砂防協会理事長

逢坂 康之 新潟県土木部砂防課長

小川 泰浩 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
森林防災研究領域 チーム長

海堀 正博 広島大学名誉教授、防災・減災研究センター学術顧問

下村 博之 (株) パスコ 企画部災害対策グループ上級主任技師

鈴木 啓介 国土交通省国土技術政策総合研究所砂防研究室長

宮田 秀介 京都大学大学院農学研究科山地保全学分野 准教授

五十音順

報告事項

第 1 号報告

令和 6 年度事業報告の件

令和6年度事業報告

I 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及

(1) 緊急調査団の設置と災害緊急調査の実施

砂防学会では、社会に影響を及ぼす土砂災害が発生した場合、緊急調査の必要性や方針を審議し、緊急調査の企画を行う特別災害対応委員会（委員長：大野宏之会長 6月19日山田孝会長）を組織している。

令和6年度は以下の災害緊急調査を実施した。

1) 2024年1月令和6年能登半島地震による土砂災害緊急調査

昨年度の先遣調査団派遣、緊急報告会に引き続き、本年度は以下の活動を実施した。

1 調査結果を学会誌へ掲載

令和6年7月 砂防学会誌 第77巻 第2号(通巻373号)に速報を掲載

令和6年9月 International Journal of Erosion Control Engineering 第17巻 第4号

2 能登半島地震調査団（団長：信州大学 堤 大三 教授、団員：5班、43名）

令和6年4月22日 第1回班長会議

令和6年6月6日 第2回班長会議

令和6年9月20日 第3回班長会議

令和7年1月7日 第4回班長会議

令和7年1月16日 報告会（後述）

3 能登半島豪雨調査団（団長：信州大学 堤 大三 教授、団員：16名）

令和6年9月20日からの豪雨による土砂災害は、令和6年11月6日の特別災害対応委員会において「土砂災害緊急調査A委員会」とされた。

令和6年11月15日 第1回団員会議

令和6年11月21日 第2回団員会議

令和6年11月23～24日 現地調査

2) 令和6年7月25日からの大雨による土砂災害への対応について

- ・事業部会の開催：令和6年9月17日（火）
- ・8月27日に開催された特別災害対応委員会の決定事項に基づき、学会長、東北支部長、研究開発部長参加のもとWEBにて事業部会を開催した。
- ・酒田市で発生した土砂・洪水氾濫、鮭川村を中心に発生したがけ崩れ、地すべりに対して東北支部にて土砂災害緊急調査委員会調査団を編成し、現地調査を実施した。→支部にて日程検討し、11月8～9日に実施した
- ・調査結果・報告は砂防学会誌 Vol. 77, No6 に掲載

(2) 受託研究調査

研究・調査受託事業取扱規程に基づき、以下の研究・調査業務を受託し委員会の管理のもとに実施した。

① 令和6年度 土砂災害が発生するおそれがある土地の区域等」の設定に関する検討業務

受託元：一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構

(3) 砂防学会賞授与

① 砂防学会研究発表会和歌山大会にて、令和6年度「砂防学会賞」受賞者を表彰した。

・論文賞

受賞者：嶋丈示、安富懸一

対象論文：嶋丈示・安富懸一(2022)：不透過型砂防堰堤上流に付設する流木捕捉工の流木捕捉機能，砂防学会誌，Vol. 75，No. 4，p. 14-24

・論文奨励賞

受賞者：中里友輔

対象論文：中里友輔・本居絵子・堤大三(2022)：火山噴出物と積雪の混合状態を考慮した融雪型火山泥流発生過程の実験と解析，砂防学会誌，Vol. 75，No. 3，p. 3-9

・技術賞

受賞者：宝音阿日毕吉胡

対象業績：宝音阿日毕吉胡・石川芳治・白木克繁・原田洋樹(2020)：鋼製ピンを用いた静的貫入試験による木材腐朽厚の簡易測定法，砂防学会誌，Vol. 73，No. 2，p. 3-13

受賞者：Takahiro ITOH

対象業績：Takahiro ITOH, Takahiko NAGAYAMA, Satoru MATSUDA, Takahisa MIZUYAMA(2021)：Direct Debris Flow Measurements using DFLP system at Kamikamihorizawa Creek, International Journal of Erosion Control Engineering, Vol. 14, No. 2, p. 12-19

② 令和7年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：小杉賢一朗

対象論文：小杉賢一朗(2022)：災害に対する警戒・避難のための未経験雨量指数の提案，砂防学会誌，Vol. 75，No. 1，p. 3-14

・論文奨励賞

受賞者：笠原菜月

対象論文：笠原菜月，権田豊(2024)：2022年と1967年に新潟県村上市で発生した豪雨による表層崩壊の比較—山地崩壊に免疫性はあるのか—，Vol. 76，No. 6，p. 42-48

・技術賞

受賞者：金井啓通・皆川淳・島田徹・永田直己・北原遼太・永谷圭司・羽田靖史・錢谷彰

対象業績：金井啓通・皆川淳・島田徹・永田直己・北原遼太・永谷圭司・羽田靖史・錢谷彰(2023)：立入規制区域内の降灰厚情報を無人で計測する調査手法の開発，Vo. 76，No. 1，p. 50-54

(4) 支部活動

①北海道支部

1. 支部総会(ハイブリッド) 2024年4月24日 15:00-16:00に北海道大学農学部で実施

支部講演会：16:00-17:00 講師：小川紀一朗氏 アジア航測(株) 相談役、前砂防学会副会長 「世界最先端の空間計測技術とは」

2. 講演会：「土砂災害を考える防災講演会 in 旭川」7月17日 ※北海道、北海道支部共催

3. 砂防フィールド探査:7月31日 「手つかずのまま残る恵庭岳オコタン野営場跡地域での2014年土石流氾

濫・堆積の実態探査」

4. 現地見学会:9月26日「1962年十勝岳噴火を契機に着手した富良野川砂防現地見学会」
説明者:石川勲氏(株)シン技術コンサル常務取締役(公社)砂防学会北海道支部シニアアドバイザー
世話役:阿部島啓人氏 松谷建設(株)札幌支店専務執行役員(公社)砂防学会北海道支部シニアアドバイザー
5. 勉強会「UAV技術の最前線」(対面):10月22日16:00-17:00 北海道大学農学部にて実施 ※広域複合災害研究センターと共同開催 講師:請川博一氏(有限会社レイブプロジェクト)
6. 気象学講座「2024年台風5号、10号の移動の特徴」(ハイブリッド) 10月25日 北海道大学農学部にて実施
講師:小倉勉氏((一財)日本気象協会北海道支社事業サービス課社会・防災Gグループリーダー)
7. 若手会イベント:「砂防計画について考える」11月22日 14:00-17:00 北海道大学農学部にて実施
講師:宮崎知与氏(Office.bit 代表取締役)
8. 支部研究発表会(ハイブリッド):11月29日 13:30-17:00 北海道大学農学部にて実施
9. 支部就職説明会(ハイブリッド):12月20日 15:00-17:00 北海道大学農学部にて実施
説明者: <国土交通省> 遠藤優人(国立研究開発法人土木研究所) <都道府県> 宮脇幸大(北海道建設部土木局河川砂防課) <民間コンサルタント> 塩野康浩, 青木大輔(国土防災技術北海道(株))
10. 「北海道砂防計画論の現在的課題の抽出と今後の活用」検討会(オンライン):12月26日11:00-12:00
検討会成果「これからの北海道の土砂害減災と地域づくりの羅針盤となる砂防計画について議論を促進するために」と今後の成果の活用について
11. 道内関係行政機関(特に道内市町村)や道内マスメディア(NHK, STV等)との連携強化

②東北支部

1. 支部運営委員会:4月19日 オンライン会議
内容:新体制での運営 これまでの支部活動の概要 総会、セミナー、現地見学会の開催地と開催日時の検討
2. 支部総会:7月29日 仙台市戦災復興記念館 参加者33名
内容:支部役員の変更、令和5年事業報告、令和6年事業計画案
3. セミナー:7月29日15時00分~17時00分 参加者:砂防学会員51名
特別講演:自然を活用した解決策による河川物理環境の改善:水理実験からの示唆 弘前大学農学生命科学部講師 鄒青穎氏
令和6年能登半島地震の緊急調査団の速報 秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 野田 龍氏
青森中央学院大学経営法学部 准教授 中村智行氏 函館工業高等専門学校社会基盤工学科 准教授 金俊之氏
4. 現場見学会:11月14日~15日 青森県むつ市大畑赤川および風間浦下風呂温泉泊 参加者:19名(宿泊17名)
目的:令和3年8月に発生した豪雨により、赤川や国道279号において多数の土石流、流木、斜面崩壊が発生した。その復旧状況について見学する。
現地説明→青森県県土整備部、資料提供→林野庁、青森県農林水産部
5. 山形県酒田市現地災害調査(砂防学会東北支部、地すべり学会東北支部合同):11月8日、9日 参加人数:26名(地すべり学会より2名参加)(国交省国土技術政策総合研究所、青森中央大学、秋田

県立大学、新潟大学、弘前大学、山形大学、東北農林専門大学、日本工営（株）、アジア航測（株）、いであ（株）、国土防災技術（株）、資料提供：朝日航洋（株）

内容：砂防学会誌3月号の掲載にむけて、投稿中

6. 支部就職説明会：12月12日 岩手大学 ハイブリッド（対面＋Web）方式
説明者：国交省東北地方整備局、国際航業（株）、（株）タックエンジニアリング
参加人数：16名（秋田大学5名（Web）、岩手大学（対面）4名、弘前大学（Web）7名、大学教員5名）
7. 弘前大学農学生命科学部市民講座（東北支部共催）：12月15日：弘前市駅前公共施設ヒロロ ハイブリッド（対面＋Web）方式 参加人数：16名
説明者：弘前大学（学生、矢田谷健一氏、鄒青穎氏）

③関東支部

1. 令和6(2024)年度砂防学会関東支部総会：6月24日（月）15時～ 砂防会館別館立山会議室、WEB 併用
議事：令和5（2023）年度事業報告 令和5（2023）年度決算報告 令和6（2024）年度事業計画（案）及び予算（案） 砂防学会関東支部運営規程改定
2. 令和6(2024)年度 講習会：6月24日（月）16時～ 砂防会館別館立山会議室、WEB 併用
「歴史・文化的価値の高い戦後砂防・治山施設の概要」アジア航測（株）相談役 小川紀一郎 氏
「今こそ知りたい斜面崩壊」東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 堀田紀文 先生
3. 砂防関係合同ゼミ

趣旨：関東にある砂防関係の研究室の学生が研究室のゼミの一環として集まり、学生同士がお互いに交流すること、砂防関係の研究・業界に関する理解を深めることを目的に、「関東砂防関係合同ゼミ」を開催。

- (1) 令和6(2024)年度 第1回砂防関係合同ゼミ：8月2日（金）15:30～19:00（19時以降 懇親会）
場所：筑波大学東京キャンパス1階122教室
参加者：35名 筑波大学（教員等3名、社会人学生2名、学生13名）、東京大学（学生1名）、東京農工大学（教員1名、学生3名）、防衛大学校（学生2名）、宇都宮大学（教員1名、学生5名）、砂防学会（4名、国土交通省、土木研究所、日本工営、建設技術研究所）
実施内容：趣旨説明（筑波大学 内田太郎 先生） 砂防について（砂防学会関東支部 支部長 西山幸治） 学生の自己紹介（2分×25人） 話題提供（越智英人（国土交通省 砂防部砂防計画課）「ブラジルでの技術協力」、高木将行（土木研究所 火山・土石流チーム）「流水対策に関する研究の取り組み」、朝原康貴（日本工営（株））「R6 能登半島地震発災後における取り組み」、佐藤光平（筑波大学）「掃流状集合流動区間における乱流状態で流下する土砂の挙動の解明」、齋藤和樹（防衛大学）「大型回転円筒を用いた流水を含んだ2粒径混合球形粒子による分級現象の実験的検討」、西原加織（東京農工大学）「樹冠遮断メカニズム解明のための貝沢、多摩丘陵での解析」
- (2) 令和6(2024)年度 第2回砂防関係合同ゼミ：12月20日（金）：14:00～17:00（終了後 ピザパーティー） 場所 東京農工大学農学部キャンパス（府中キャンパス）1号館4階420部屋
参加者：31名 宇都宮大学（教員1名、学生5名）、東京大学（学生2名）、防衛大学（教員1名、学生1名）筑波大学（教員1名、学生13名）、東京農工大学（教員1名、学生6名）
実施内容：学生の自己紹介 研究紹介 話題提供（高倉未央 東京農工大学「噴火後の火山灰降灰を想定した火山灰変質過程の分析」 加藤琉之助（B4）宇都宮大学「（仮）人工林施業下における表層崩

壊の発生要因の検討」 竜川太志 防衛大学「流木群の衝撃荷重実験の試み」 一倉夏帆 (M2) 筑波大学「タイムラプスカメラを用いた山地河川における濁りの流出プロセスの把握」 Mahpara・Kannika 東京農工大学「2024AGU 大会【ワシントン】の様子、速報

4. 若手技術者のための現地見学会：11月29日（金）（終了後 意見交換会） 山梨県御勅使川、日川周辺（芦安堰堤、源堰堤、信玄堤、勝沼堰堤他）参加者：35名（その他に講師2名、スタッフ9名）
開催概要：砂防・治水事業に尽力した先人たちの知恵と努力を学ぶことをテーマとし、富士川水系の御勅使川や日川等に残る歴史的施設をめぐるコースを見学。参加者アンケートでは、90%以上の方から内容について「良い〜大変良い」と評価していただきました。
講師：山梨県砂防課土門課長補佐、アジア航測（株）小川相談役

④信越支部

1. 支部総会・講演会の開催

- (1) 総会：5月2日（木）14時から ハイブリッド、長野市生涯学習センター 大会議室1 出席者：委任状と合わせて88名（支部会員115名中） 議題 「令和5年度事業報告（案）」、「令和6年度事業計画（案）」、「運営規程の改定（顧問及び事務局の設置）（案）」「役員の推薦（案）」2025（令和7）年度（公社）砂防学会研究発表会について、長野市で開催され、信越支部主体で運営する旨の報告

- (2) 講演会：同日15時から 長野市生涯学習センター

演題：「令和6年能登半島地震災害～大規模土砂災害時における砂防学会の役割と期待されること」を演題としパネルディスカッション形式 パネラー：大野宏之（一社）全国治水砂防協会理事長、（公社）砂防学会会長、古谷 元 富山県立大学工学部教授、信越副支部長、権田 豊 新潟大学農学部教授、信越副支部長、柏原佳明 アジア航測（株）国土保全コンサルタント事業部、砂防学会理事の4名の方、ならびにコーディネーターとして堤大三 信州大学農学部教授、信越支部長

2. 砂防急傾斜監理技術者試験（一次試験）年6月22日（土）、長野会場（長野市生涯学習センター3階 第5学習室）において実施

3. 現地見学会・検討会：10月4日（金）、長野県の飯山市・栄村 22名参加。うち学生会員3名 内容：飯山市から栄村にかけての千曲川左岸山地では本年、令和6年4月に発生した飯山市野々海川上流の崩壊、平成23年3月12日の長野・新潟県境地震に起因した栄村中条川での大規模崩壊等本地域での土砂災害現場を視察すると共に意見交換を行った。

講師：長野県北信地域振興局林務課 神原博明課長補佐

4. 砂防就職説明会の開催：12月5日（水）新潟大学農学部 C107 講義室およびオンライン

講師：（国研）土木研究所雪崩・地すべり研究センター 榎直人 新潟県土木部砂防課 高橋歩斗 アジア航測（株） SABO 課 山口悠 幹事：権田豊教授（新潟大学）

参加：11名（新潟大学4名（M1 2名、B3 2名）対面4名、信州大学5名（M1 1名、B3 4名）Web 5名 富山県立大学4名（B3 4名） Web 4名） その他、教員2名

5. 土砂災害緊急対応の実施に関する事項

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による災害対応について、砂防学会では、本地震による土石流、崩壊、地すべり、河道閉塞の甚大さ・重大性等を総合的に判断し、広域に影響を及ぼす極めて重大な災害に対応する土砂災害緊急調査A委員会を設置し、2月の先遣調査を踏まえ、4月以降本格調査実施に着手、順次調査を進めている。

信越支部としては、支部長（堤大三）が調査団長を、副支部長（古谷元、権田豊）が調査班長を務めて

いるのをはじめ、他 10 名（宮田秀介、福山泰治郎、河合政岐、小野和行、田中靖政、塚原直幸、桑原宏尚、山本満明）が調査団に参画している。各班が現地調査を行っており、班ごとに成果を取りまとめ、令和 7 年 1 月 16 日の調査報告会で報告された。

一方、能登半島では 9 月 21～22 日の豪雨によって、多数の崩壊、地すべりが発生、また地震によって形成された河道閉塞の多くが決壊し、土砂流出が下流域に被害を与える複合災害となった。その結果を受けて学会本部では再び土砂災害緊急調査 A 委員会が設置され、能登半島豪雨災害に対する調査団が結成された。信越支部としては、支部長（堤大三）が引き続き調査団長を務め、副支部長（古谷元、権田豊）も調査団に参画している。11 月 23, 24 日に緊急調査が行われ、今後詳細な検討が進められる予定である。

⑤東海支部

1. 支部総会：6 月 27 日（木）16：00～ 貸し会議室イールーム名古屋駅前 A
議題：令和 5 年度の事業報告および令和 6 年度の事業計画の策定
意見交換会の実施
2. 現地見学会・講演会：11 月 29 日（金）見学地：富士山南西山麓（大沢扇状地施設ほか）等
講演会：富士山および伊豆東部火山群における火山砂防の取り組み
講演者：国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課
参加者約 18 名
3. 砂防関係就職説明会・研究交流会：10 月 3 日（木）14 時～18 時半 静岡大学農学部
内容：「防災・減災や国土保全のキャリアを考える - お仕事から研究・技術交流まで」
第一部：防災減災に関するキャリア 国、県、民間からの業務内容の紹介
第二部：研究・技術紹介プログラム 学生による研究発表、民間からの技術紹介
参加者 24 名
4. 中部地整管内災害協定の参加
・中部地整、管内各県、政令市等で締結される災害協定（平成 30 年～）に継続参加
5. 東海支部内で発生した災害への対応、現地調査等
・三重県名張市阿部田の土砂崩落現場における対応について三重県にアドバイスをを行った。
・蒲郡市竹谷で発生した崩壊の現地調査を愛知県等と実施した。
6. 広報
・支部活動の広報・報告：支部総会、企画等のお知らせ、活動報告
・レンタルサーバーの管理：メーリングリストの運用

⑥関西支部

1. 支部幹事会・運営委員会の開催：7 月 4 日（木）オンライン
2. 就職説明会（砂防学会関西支部 業界セミナー）の開催：11 月 15 日（金）立命館大学びわこ草津キャンパス トリシア I 都市システム系演習室 1（1 階）参加人数：49 名（内、学生 20 名）
3. 関西支部総会・オープンゼミの開催：9 月 4 日（水）和歌山県民会館
発表者：坂口氏（和歌山県砂防課）、吉田氏（（株）パスコ）、西尾氏（（株）建設技術研究所） 計 3 名 参加人数：オープンゼミ 19 名、総会 21 名
4. 現地検討会・オープンゼミの開催：令和 6 年 11 月 23 日～11 月 24 日 和歌山県土砂災害啓発センター、那智川流域

目的：砂防に携わる技術者、研究者、実務者が一堂に会して研究発表や意見交換、討論を行い、今後の砂防技術の向上に資することを目的に実施

発表者：高原 晃宙（近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター）、稲田 健二（和歌山県土砂災害啓発センター）、郡 典宏（兵庫県防災士会）、永田 葉子（国土防災技術（株））参加人数：28名

5. 砂防学会和歌山大会実行委員会（複数回, 4/18, 5/7, 5/14）

6. 令和6年度砂防・急傾斜管理技術者試験 京都会場運営

一次試験：6月22日（土）YIC 学院 受験者15名（うち、当日の欠席者1名）

二次試験：9月28日（土） 同上 受験者14名

⑦中四国支部

- 活動方針：地域に密着した活動を通して、砂防に関する技術の交流、技術の向上、情報交換等を図るとともに、中国地域（山口、島根、鳥取、岡山、広島）と四国地域（愛媛、香川、徳島、高知）における災害発生時の緊急調査体制を迅速に整え、行政機関等との災害協定を締結し、災害の実態・原因の迅速な解明、二次災害の防止や災害復旧への貢献、関係機関への情報提供、一般の市民の土砂災害に対する知識や認識の向上等を図る。

令和6年度も支部総会はメール審議とし中四国支部主催のシンポジウムはWebも併用して開催した。

2. 活動実績

以下の行事・活動を実施した。

実施日	内容	場所	参加者	備考
6月6日	令和6年度土砂災害防止全国大会	広島県	1,100名	後援
6月6日	令和6年度中四国支部定時総会	メール審議	—	主催
6月18日	宮島砂防学習の案内	宮島	63名	主催
10月26日	防災講演会「みんなで考えよう岡山地域の地震防災」	岡山県 Web 併用	127名	後援
11月20日	令和6年度中国地方防災研究会第1回防災講演会・公益社団法人砂防学会中四国支部シンポジウム「8.20広島土砂災害」から10年、あのときの課題はどう克服されてきたか？」	広島県 Web 併用	634名	中国地方防災研究会との共催
11月22日	現地見学会「平成26年8月豪雨災害・平成30年7月豪雨災害の現場周辺」	広島県	22名	主催
12月4日	砂防関係キャリアガイダンス	Web と対面併用	14名	主催

3. 主な活動内容

(1) 宮島砂防学習の実施

- 令和6年6月18日（火）9:00～17:00、ノートルダム女学院中学高等学校（京都市）からの中学3年生（修学旅行生63名）の宮島砂防学習の案内。中四国支部会員7名により案内を行った。

(2) 支部後援の防災講演会

- 令和6年10月26日（土）13:00～17:00、日本技術士会中国本部岡山県支部主催の防災講演会「みんなで考えよう岡山地域の地震防災」（オンライン併用）を後援した。参加者は127名。

(3) 中国地方防災研究会との共催シンポジウム

- 令和6年11月20日（水）14:00～17:15、「令和6年度中国地方防災研究会第1回防災講演会・公益社団法人砂防学会中四国支部シンポジウム～「8.20広島土砂災害」から10年、あのときの課題はどう克服されてきたか？～」をオンライン併用で開催した。「8.20広島土砂災害」とはどういう災害だったのか？」「広

島豪雨で発生した線状降水帯～発生のしくみと予測に向けて～」の基調講演が行われ、討論会を実施した。
参加者は634名。

(4) 支部主催の現地見学会

- ・令和6年11月22日(金) 9:00～17:00、支部主催の現地見学会を開催した。平成26年8月豪雨災害、平成30年7月豪雨災害の土砂災害現場(広島県広島市・坂町・熊野町)、坂町自然災害伝承公園・伝承ホール、及び、広島市豪雨災害伝承館の見学を行った。国土交通省広島西部山系事務所の川邊副所長、広島県砂防課の平田課長、広島市豪雨災害伝承館松井副館長により説明を受けた。参加者は22名。

(5) 砂防関係キャリアガイダンス

- ・令和6年12月4日(水) 15:00～17:00、砂防関係の就職に関心を持っている学生向けに中四国支部会員によるキャリアガイダンス(オンラインと対面の併用)を実施した。対面の主会場は広島工業大学(世話人:田中健路教授)、副会場は岡山理科大学(世話人:佐藤丈晴教授)。話題提供は、国土交通省広島西部山系砂防事務所の佐々木美紀所長、広島県土木建築局砂防課の平田遼課長、エイト日本技術開発の只熊典子氏から主な説明が行われ、中電技術コンサルタント、復建調査設計、荒谷建設コンサルタントからの補足説明を追加の後、質疑応答がなされた。学生の参加は14名。

(6) 支部会議等

- ・令和6年6月6日、メール審議による支部定時総会を実施。
- ・令和6年4月15日、5月7日、5月30日、7月11日、7月29日、8月22日、10月1日、11月15日、令和7年1月7日、に、幹事会・打合会を開催・実施。

⑧九州支部

1. 「令和6年度砂防学会九州支部現地研修会」

研修会テーマ：付加体の大規模崩壊地調査実習—令和2年川内川土砂・洪水氾濫の土砂発生源—

内容：令和2年7月に球磨川右支川の川内川で発生した土砂・洪水氾濫の土砂発生源である、付加体の大規模崩壊地付近まで登り、現地で鹿児島大学名誉教授地頭菌先生に講義頂きます。

開催日時：令和6年11月29日(金) 9:30～17:00 予定(新八代駅集合・解散)

現地見学箇所：球磨川右支川 川内川(熊本県球磨郡球磨村大岩地区)

参加費：会員7,000円、非会員8,500円、学生5,000円

参加条件：傾斜30～40°程度の急斜面を上り1.5時間、下り1時間程度歩ける方。

定員：先着15名

2. 令和6年度 砂防学会九州支部若手技術者交流会(ライブ配信あり)

交流会テーマ：若手技術者のための実務経験発表会

—調査・計画・解析・設計の実務経験を例に実践知の共有—

開催日時：令和6年12月13日(金) 15:00～17:30 予定

開催場所：西日本技術開発(株)会議室

(福岡県福岡市中央区渡辺通1丁目1-1 電気ビルサンセルコ別館)

発表人数：5名(25分程度/人：発表15分+質疑応答10分)

参加費：会員、非会員ともに無料

定員：会場参加者30名(※WEB参加者は定員なし)

II 砂防に関する研究及び調査の助成

(1) 令和6年度若手研究助成の実施

以下の7課題の若手研究技術開発助成を実施した。

- ①課題名 大規模土砂移動現象後の土砂動態と降雨、土砂分布との関係についての検討

氏名 牛尾 樹生 (九州大学)

助成額 280,000 円

- ②課題名 流域全体にわたる詳細な透水性分布の計測及びその分布を反映した浸透流出シミュレーション

氏名 柳井 鴻太郎 (京都大学)

助成額 360,000 円

- ③課題名 粒子サイズに注目した土石流の流動・堆積モデルの開発

氏名 榊原 颯輝 (立命館大学)

助成額 360,000 円

- ④課題名 間隙流体土砂濃度が土石流内部と河床に及ぼす影響の実験的解析

氏名 大海 陸人 (神戸大学)

助成額 299,200 円

- ⑤課題名 周水河砂礫斜面における地形形成速度の分類

氏名 齋藤 桂 (新潟大学)

助成額 290,775 円

- ⑥課題名 軽石の密度変化が土砂移動現象に与える影響について

氏名 澤田 笙 (神戸大学)

助成額 247,313 円

- ⑦課題名 日本全国のダム貯水地上流域を対象とした森林・地形状態と土砂・流木の生産・滞留・流出量評価

氏名 中島 啓太 (名古屋大学)

助成額 280,000 円

(2) 令和6年度公募研究助成の実施

以下の1課題の研究会を実施した。

- ① 研究会名：粒子重力流研究会

研究テーマ：地球表層における粒子重力流のダイナミクスの分野横断での比較による数値計算モデルの高度化と防災への応用

研究代表者：酒井佑一 (宇都宮大学), 会員

研究期間： 2024～2026 年度

令和6年度：助成額 400,000 円

(3) 令和7度の若手研究助成の公募と審査(案)

若手研究助成の公募を行い、5課題を採択した。

研究代表者	所属	研究タイトル	申請額	助成額
川上礼央奈	岩手大学	年輪地形学による地すべり履歴の高精度な復元手法の確立	392,000	392,000

竹田拓己	山口大学	表層崩壊地における水分挙動の把握と崩壊発生条件の解明	370,260	370,260
金子竜己	静岡大学	4D-LiDAR 観測による土石流流下中の粒度分布の解明	380,000	380,000
佐藤澄佳	北海道大学	熱風部の流下に伴う熱伝達の実態と温度低下のメカニズムの解明	400,000	400,000
岩尾健司	京都大学	樹木根系が土壌透水性分布と降雨浸透過程に及ぼす影響	394,000	394,000
計			1,926,260	1,926,260

(4) 令和7年度の研究会助成の公募と審査

研究会助成の公募を行い、一課題の研究会を採択した。

① 研究会名：粒子重力流研究会

研究テーマ：地球表層における粒子重力流のダイナミクスの分野横断での比較による数値計算モデルの高度化と防災への応用

研究代表者：酒井佑一（宇都宮大学）、会員

研究期間：2024～2026年度

2025年度要望額：400,000円 → 助成額 400,000円

Ⅲ 砂防に関する研究発表会、講演会、講習会等の開催及び見学視察等の実施

(1) 研究発表会の開催

令和6年の砂防学会研究発表会を5月15日から17日まで和歌山県で開催した。発表会は会場での対面式開催とし、会場への参加者は1,022名、意見交換会の参加者は約700名と多数の参加を頂いた。

開会式には、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 草野眞一様、林野庁森林整備部山地災害対策室長 徳留善幸様、和歌山県副知事 下 宏様、和歌山市都市建設局道路河川部長 川上泰弘様、国土交通省近畿地方整備局河川部河川保全管理官 豊田陽介様、近畿中国森林管理局 計画保全部治山課長 中井泰亮様にご出席いただいた。

開会式後、令和6年度砂防学会賞受賞論文の講演、続いて2011年紀伊半島大水害で被災された久保榮子様から「紀伊半島大水害体験紙芝居」と題して特別講演をいただいた。この講演には学会参加者のみでなく一般の方も参加指され満席となった。

研究発表会は県民文化会館、自治会館、日赤会館の3施設6会場で行った。テーマ別セッションは、砂防技術の国際展開、世界遺産・歴史・観光資源と砂防、ハード対策の効果と限界の3テーマ15題、流砂及び土石流では20題、土砂流出7題、構造物20題、斜面崩壊及び地すべり22題、生態系の保全及び創出4題、砂防計画5題、管理・計測30題、火山砂防10題、水文8題、警戒避難27題で計163題の口頭発表があり、ポスターでは223題の発表があった。さらに、行政展示と16社の企業展示があり、最新技術情報が展示されていた。

本大会では、優れた調査研究を行い発表した若手学会員の功績を称え、若手学会員の研究意欲の高揚と砂防に関する調査研究の進展のために、若手優秀発表賞の選考を行った。エントリーされた発表に対し、審査員による採点結果をもとに、最優秀発表賞（口頭、ポスター各1名）、優秀発表賞（口頭9名、ポスター17名）を表彰した。

最終日の5月17日に、2011年紀伊半島大水害による土砂・洪水氾濫に対する那智川流域における直轄砂防事業視察、2004年に世界遺産に登録された高野山を保全する和歌山県の砂防事業を視察の2コースの現地見学を行った。

最後に、冊子への広告掲載をお願いしたところ、26社から広告を掲載頂き、また、30社からバナー広告の協賛をいただいた。

(2) 講習会、現地検討会の開催

1) 第17回 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

開催日：令和6年9月4日（水）～5日（木）

場所：中尾公民館（京都大学防災研究所 穂高砂防観測所近く）

参加者：約70名

概要：【1日目】

講演：鹿児島大学名誉教授 地頭菌隆、神通川水系砂防事務所、松本砂防事務所

交流会：学生と若手技術者の交流会

【2日目】

Aコース：神通砂防管内の巡検、足洗谷巡検

Bコース：上高地巡検

2) 令和6年度砂防学会講演会

①令和6年度（公社）砂防学会講演会

日時 6月19日（水）16時30分～17時30分

場所 砂防会館別館3階 霧島

講師 地頭菌隆 元公益社団法人砂防学会副会長 鹿児島大学名誉教授

演題 災害現場から生まれた砂防研究

参加費 砂防学会正会員 1,000円、非会員 2,000円、学生 無料

参加者 会場およびライブ配信

②令和6年度 能登半島地震砂防学会調査団 報告会

開催日：令和7年1月16日（木）

場所：砂防会館別館霧島会議室およびWEB

会費：正会員 3,000円 非会員 5,000円 学生 無料

参加者：195名（対面：46名、WEB149名）

協賛企業：11社（広告掲載）

概要：

第1班 地震発生後の降雨による土砂移動・土砂災害の発生について 班長 小杉 賢一郎

第2班 地震による土砂災害に対するリスク表示の可能性について 班長 権田 豊

第3班 河道閉塞と流動化について 班長 今泉 文寿

第4班 地すべりの実態 班員 古谷 元

第5班 砂防関係施設の効果評価 班長 堀口俊行

調査の総括 調査団長 堤 大三

結果：参加者からのアンケートの結果、好評な意見が多く寄せられた

公開：新年度に報告会の動画を学会HPにて公開予定

3) 砂防学会 女性の会

令和6年5月16日（木）12時00分～13時30分 和歌山市 参加費は一人あたり500円で、12名の参加。学生から中堅を含めた参加者により、砂防に関する研究や業務、日々の生活について立場の違いを超

えた活発な意見の交換があった。

IV 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申

今年度の活動無

V 会誌及び砂防に関する図書、報論文、資料等の刊行

- 1) 砂防学会誌（和文）の発刊 Vol. 77 (No. 1～6) の6冊を刊行した。
- 2) 令和6年度砂防学会研究発表会概要集をWEB公開した。
- 3) 砂防人材育成委員会の提言を受け、関係の若手研究者、技術者を育成するため「砂防の観測の現場を訪ねて」1～4巻の販売を継続した。

VI 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開

(1) 情報提供

- 1) 砂防学会ホームページの管理・更新、英語版の作成、メーリングリストの運営を行った。
- 2) 砂防学会誌(和文)のJ-STAGEへの公開 Vol. 76, No. 6まで公開した。
- 3) 英文誌の発刊とJ-STAGEへの公開 Volume 17 Issue 2, 3, 4 Volume 18 Issue 1 公開

(2) 砂防図書館

砂防関係団体と共同で砂防図書館（東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館A棟3階）を運営し、砂防関係学術資料の収集、保管、公開を行った。

VII 砂防の発展に資する学術国際活動

(1) 国際交流会の開催 (International Gathering 2024)

和歌山大会における国際交流会の実施

2024年5月16日(木) 12:00～13:00 会場とZOOMオンライン

会場とオンラインで40名の参加

○ 世界各地からの研究報告

・ Gumbert Maylda Pratama, Nagoya University, Universitas Atma Jaya Yogyakarta, Indonesia
Ph.D. Student 博士課程

Landslide characteristics across various land covers in the upper Hulu Ciliwung watershed, Indonesia

・ Matthias Bonfrisco, Free University of Bozen-Bolzano, Italy

Ph.D. student 博士課程 (京都大学の研究交流学生)

Sediment transport analyses through innovative measurement station in the Sulden catchment,
northeastern Italian Alps

・ Kalana Ariyakumara, University of Tsukuba, National Building Research Organization, Sri Lanka
Ph.D. Student 博士課程

Landslide hazard and risk management in Sri Lanka

(2) 海外学術情報収集・調査助成及び海外学術調査

1) 海外情報収集等の実施

①海外の著名研究者の招へい 京都大学大学院 農学研究科 宮田秀介氏

John Laronne 名誉教授 Dept. of Geography & Environmental Development Ben Gurion Univ. of the Negev
601,960 円 イスラエルの紛争状況が悪く、イスラエルへドイツの航空券を追加購入一部不足経費が発生し、会議費 50,000 円とシンポジウム 50,000 円の部会経費から負担

② 国際セミナー等の実施 新潟大学 農学部 権田豊氏 260,000 円

12th International Workshop on Multimodal Sediment Disasters in Niigata

2) 令和6年度インドネシア国（マラピ火山）災害調査派遣

派遣機関：2月15日～22日

派遣者：藤田正治（公社）砂防学会元会長（一財）砂防・地すべり技術センター 研究顧問
高山翔揮 京都大学防災研究所 准教授
福島淳一 八千代エンジニアリング（株）インドネシア所長

共同派遣者：伊藤誠記（国研）土木研究所土砂管理研究グループ 上席研究員
松永隆正（国研）土木研究所土砂管理研究グループ 研究員
藤澤康弘（一財）砂防・地すべり技術センター 火山防災部技術課長

調査内容：2024年12月以降の噴火活動によって火砕流、火山灰が堆積していたマラピ山において、2025年5月の大雨によって大規模な土石流が発生し、数十人以上の死者が生じた。わが国では、2014年御嶽噴火災害以来、噴火後の緊急調査、緊急減災対策を実施した経験がない。本調査では、この災害の概要と、噴火後、土石流災害発生までに関係当局が実施した対応の概要を把握し、我が国における噴火後の緊急調査、緊急減災の対応能力強化のための基礎資料を得ることを目的とする。2024年6月国際水フォーラム時になされた日尼間の合意に基づき、インドネシア STC の再活性化に向けた取り組みの一環として、STC において、マラピ山の調査結果を速報する等、日尼合同の技術セミナーを実施し、再活性化に向けた日尼双方における機運の醸成を図ることを目的とする。

旅費交通費 652,227 円

(3) 砂防学会誌への国際会議情報の収集と掲載

1) 砂防用語解説についての掲載と今後の予定

コラム掲載スケジュール	内容	担当
2024年3月号	砂防における日英用語解説の必要性	五味
2024年5月号	Landslides 斜面崩壊 地すべり	影山
2024年7月号	土石流・土砂流	堀田
2024年9月号	土砂集合流動から掃流土砂移動	山野井
2024年11月号	深層崩壊	小柳
2025年1月号	Hazard Map 土砂災害警戒区域	篠原
2025年3月号	流木・流木動態	堀口
2025年5月号	砂防ダム、治山ダム	黒川

2) 砂防学会誌への国際会議情報の収集と掲載

砂防学会誌各号にて国際会議やシンポジウム等の情報を収集し掲載した。

(4) インタープリメント 2026 への協力

編集小委員会メンバーや査読担当などで部会メンバーの協力

Editorial Manager の導入による投稿・査読システムの導入と運用

VIII 砂防技術者の育成

(1) 砂防関係就職説明会の開催

各支部で例年どおり開催した。

- ・北海道支部：幹事校、北海道大学

開催日：2024 年 12 月 20 日（金）15:00～17:00

開催方法：ハイブリッド

説明者：県 北海道建設部土木局河川砂防課 民間 国土防災技術北海道（株）

- ・東北支部：幹事校、岩手大学

開催日：12 月 12 日（木）16:00～18:00

開催方法：対面

説明者：国土交通省新庄河川事務所、民間 国際航業（株）・（株）タックエンジニアリング

参加者数：16 人

- ・関東支部：幹事校、宇都宮大学

開催日：8 月 2 日（金）15:30～19:00

開催方法：対面

説明者：国交省 本省砂防計画課・土木研究所、民間 日本工営（株）

参加学生数：24 名

- ・信越支部：幹事校、新潟大学

開催日程：12 月 4 日（水）16 時 30 分～

開催方法：対面

説明者：国交省 雪崩・地すべり研究センター、県 新潟県、民間 アジア航測（株）

参加学生数：13 人

- ・東海支部：幹事校、静岡大学

開催日程：10 月 3 日（木）14:30～18:30

開催方法：対面

説明者：国交省 本省砂防計画課、県 静岡県砂防課、民間 八千代エンジニアリング（株）・中日本
高速道路（株） 参加学生数：12 人

- ・関西支部：幹事校、立命館大学

開催日程：10 月末～12 月初旬を予定

開催方法：対面

説明者：国土交通省 紀伊山系砂防事務所 県 大阪府・兵庫県 民間 （一財）砂防・地すべり技
術センター・日特建設（株）・JIP テクノサイエンス（株）・八千代エンジニアリング（株）・大日本

- ダイヤコンサルタント・アジア航測（株）・（株）建設技術研究所・いであ（株）・日本工営（株）・
 （株）パスコ・国際航業（株）・（株）東京建設コンサルタント・砂防エンジニアリング（株）
 ・中国・四国支部：幹事校 広島工業大学
 開催日程：12月4日（水）15:00～17:00
 開催方法：対面とオンラインのハイブリッド
 説明者：国交省 広島西部山系砂防事務所、県 広島県砂防課、民間 （株）エイト日本技術開発
 ・九州支部：幹事校 九州大学（仮） （未実施）

(2) 技術者継続教育（CPD）の支援

砂防技術者の能力の維持・向上のため、本学会の各種活動に対し、継続教育プログラムを提供、証明書を発行した。

IX 砂防技術者の資格付与と教育

(1) 砂防・急傾斜管理技術者資格更新講習の実施と資格付与

令和6年度の砂防・急傾斜管理技術者資格一次試験は、令和6年6月22日（土）に仙台、東京、長野、京都、福岡の5会場で実施し、45名が受験し34名が合格した。二次試験は令和6年9月28日（土）京都及び福岡の2会場で、10月5日（土）東京会場で実施し、35名が受験し35名が合格した。

資格登録した者を対象に資格更新のための講習会を、令和6年11月1日から30日までの1か月間オンデマンド方式により実施し、43名が受講し、資格更新した。令和7年3月31日現在で砂防・急傾斜管理技術者資格保持者は569名である。

講習内容

「能登半島地震で発生した土砂災害～砂防学会災害調査～」信州大学教授 堤大三氏

「砂防設備の損傷と施設点検時の留意事項」

国土交通省水資源・国土保全局砂防部砂防計画課課長補佐 後藤健氏

X 会議の開催

(1) 定時総会

令和6年6月19日15時から東京都千代田区砂防会館において代議員による定時社員総会を開催した。社員総数130名に対し出席社員数（委任状・議決権行使書出席含）は90名（定款第22条の規定による定足数は66名）で総会は成立した。

- | | | |
|-----|-------|-------------------|
| 議案： | 第1号議案 | 令和5年度収支決算の承認を求める件 |
| | 第2号議案 | 第7期役員選任を求める件 |
| | 第3号議案 | 名誉会員承認を求める件 |
| 報告 | 第1号報告 | 令和5年度事業報告の件 |
| | 第2号報告 | 令和6年度事業計画の報告の件 |
| | 第3号報告 | 令和6年度収支予算の報告の件 |
| | 第4号報告 | 規程改訂（前納制度創設）の報告の件 |

(2) 理事会

第1回 開催日時：令和6年5月14日（火）14:30～16:30

開催場所：和歌山城ホール 和歌山市七番町25番地1及びWEB会議（Zoom）

- 議案 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
第2号議案 令和5年度収支決算承認の件
第3号議案 令和6年度収支予算変更承認の件
第4号議案 第7期役員候補者推薦の件
第5号議案 令和6年度定時社員総会招集の件
第6号議案 規程改定の承認の件(支部組織への顧問の設置)
第7号議案 支部幹部変更承認の件
第8号議案 入会承認の件
第9号議案 他学会等からの後援依頼承認の件

報告 第1号報告 国際部会

その他

第2回 令和6年6月12日 書面決議

議案 規程改訂承認(前納制度創設)の追加承認の件

第3回 開催日時: 令和6年6月19日(水) 16:00~16:10

開催場所: 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階蔵王会議室及びWEB会議(Zoom)

議案 会長、副会長、専務理事の選定

第4回 開催日時: 令和6年6月19日(水) 16:10~16:20

開催場所: 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階蔵王会議室及びWEB会議(Zoom)

議案 各部会長等の選任

第5回 令和6年9月6日 書面決議

議案 第1号議案 定款第35条による副会長又は専務理事の順序

第2号議案 砂防学会賞選考委員会の選任

第6回 開催日時: 令和6年10月17日(水) 10:00~12:00

開催場所: 砂防会館別館3階立山会議室及びWEB会議(Zoom)

議案 第1号議案 砂防学会謝金等規程改定

第2号議案 入会者承認の件

第3号議案 他学協会からの後援依頼承認の件

報告 第1号報告 令和7年度研究発表会の準備状況

第2号報告 部会、機構、支部報告

第3号議案 支部幹部変更の件

第4号議案 入会者承認の件

第5号議案 名誉会員の入会推薦

第6号議案 他学協会からの後援依頼承認の件

第1号報告 令和6年度研究発表会の準備状況

第2号報告 部会、機構、支部報告

第7回 開催日時: 令和7年3月28日 13:00~15:00

開催場所: 砂防会館別館2階 特別会議室及びWEB会議(Zoom)

議案 第1号議案 令和6年度事業報告案承認の件

第2号議案 令和6年度収支決算見込み案承認の件

- 第 3 号議案 令和 7 年度砂防学会賞授賞者承認の件
第 4 号議案 令和 7 年度研究会および若手研究助成承認の件
第 5 号議案 令和 7 年度海外研究交流助成承認の件
第 6 号議案 規程改訂承認の件（前納制度に係る経理規程）
第 7 号議案 砂防奨学金に係る制度の見直しと推薦委員会の承認の件
第 8 号議案 電子システム管理・運用委員会の承認の件
第 9 号議案 砂防技術推進機構委員(案)承認の件
第 10 号議案 令和 7 年度受託研究承認の件
第 11 号議案 令和 8 年度研究発表会実行委員長及び開催地承認の件
第 12 号議案 令和 7 年度事業計画案承認の件
第 13 号議案 令和 7 年度収支予算案及び資金調達案承認の件
第 14 号議案 入会承認の件
第 15 号議案 他学会等からの後援依頼承認の件
- 報告 第 1 号報告 会長、副会長及び専務理事の自己の職務の執行状況の報告
第 2 号報告 令和 7 年度研究発表会「長野大会」実施要領
第 3 号報告 部会・委員会報告について
国際部会（資料-18）、事業部会（資料-19）、砂防技術推進機構（資料-20）
第 4 号報告 支部活動報告について
北海道支部（資料-21）、東北支部（資料-22）、関東支部（資料-23）、信越
支部（資料-24）、東海支部（資料-25）、関西支部（資料-26）、中四国支部
（資料-27）
その他 インタープリメント 2026 セカンドサーキュラー（資料-28）

(3) 部会長・幹事会会議

第 1 回 開催日時：令和 7 年 1 月 28 日（火）13:00～15:00

開催場所：砂防会館別館 2 階特別会議室及びWEB 会議

- 議題 1) 令和 8 年研究発表会の開催地について
2) 砂防奨学金について
3) 電子システム管理・運用について
4) 令和 7 年研究発表会「長野大会」の準備状況
5) 部会、委員会、支部報告

(4) 令和 7 年度「砂防学会賞」選考委員会の開催

選考委員会は選考委員 7 名出席のもと、令和 7 年 1 月 27 日（木）19 時 00 分～20 時 00 分にオンラインで開催された。

(5) 部会

1) 総務部会

2) 経理部会

永らく学会活動に参加・貢献いただいた60歳以上の個人会員に対して、若手への技術継承や会費納付の継続の簡略化を目的として「会費前納制度」を検討し、令和7年度の会費納入よりその制度を開始することとなった。

制度創設の検討資料を作成し、第6回理事会にて報告した。また、本制度について学会HPや学会誌に通じて、会員へ周知した。

第1回会議 日時：令和6年9月10日（火）13:00～14:30

場所：砂防会館別館 2F 蔵王

議題：会費前納制度について

3) 研究開発部会

第1回 研究開発部会

日時：2024年9月13日（Zoom会議）

2025年度研究発表会の企画・テーマ別セッションについて等

第2回 研究開発部会

日時：2024年10月7日（メール会議）

2025年度研究会および若手研究助成の公募について等

第3回 研究開発部会

日時：2025年3月12日（Zoom会議）

2025年度研究会および若手研究助成の審査等

4) 編集部会・編集委員会（和文誌）

第1回部会（令和6年5月15日） 参加者 20名

第2回部会（令和6年7月26日） 参加者 18名

第3回部会（令和6年9月27日） 参加者 16名

第4回部会（令和6年11月21日） 参加者 15名

第5回部会（令和7年1月24日） 参加者 15名

第6回部会（令和7年3月17日） 参加者 17名

編集部会・英文誌編集委員会

第1回 2024年5月16日（木）場所：県民文化会館 5階大会議室（第3会場）出席者 10名

第2回 2024年11月18日（月）場所：信州大伊那キャンパス+Zoom（ハイブリッド）
出席者 10名

5) 国際部会

開催日時：令和6年9月23日（火）16:30～ オンライン

議題 1) 令和6年度の部会メンバーの紹介

2) 令和6年度の予定

3) インタープリメント2026の話題

- 4) 研究発表会（和歌山大会）での国際交流会の報告
- 5) 海外情報収集等の助成公募要領審査

6) 事業部会

各支部で例年どおり開催した。

- ・北海道支部：幹事校、北海道大学

開催日：2024 年 12 月 20 日（金）15:00～17:00

開催方法：ハイブリッド

説明者：県 北海道建設部土木局河川砂防課 民間 国土防災技術北海道（株）

- ・東北支部：幹事校、岩手大学

開催日：12 月 12 日（木）16:00～18:00

開催方法：対面

説明者：国土交通省新庄河川事務所、民間 国際航業（株）・（株）タックエンジニアリング

参加者数：16 人

- ・関東支部：幹事校、宇都宮大学

開催日：8 月 2 日（金）15:30～19:00

開催方法：対面

説明者：国土交通省砂防計画課・（国研）土木研究所、民間 日本工営（株）

参加学生数：24 名

- ・信越支部：幹事校、新潟大学

開催日程：12 月 4 日（水）16 時 30 分～

開催方法：対面

説明者：国交省 雪崩・地すべり研究センター、県 新潟県、民間 アジア航測（株）

参加学生数：13 人

- ・東海支部：幹事校、静岡大学

開催日程：10 月 3 日（木）14:30～18:30

開催方法：対面

説明者：国交省 本省砂防計画課、県 静岡県砂防課、民間 八千代エンジニアリング（株）・中日本
高速道路（株） 参加学生数：12 人

- ・関西支部：幹事校、立命館大学

開催日程：10 月末～12 月初旬を予定

開催方法：対面

説明者：国土交通省 紀伊山系砂防事務所 県 大阪府・兵庫県 民間 （一財）砂防・地すべり技
術センター・日特建設（株）・JIP テクノサイエンス（株）・八千代エンジニアリング（株）・大日
本ダイヤコンサルタント・アジア航測（株）・（株）建設技術研究所・いであ（株）・日本工営（株）・
（株）パスコ・国際航業（株）・（株）東京建設コンサルタント・砂防エンジニアリング（株）

- ・中国・四国支部：幹事校 広島工業大学

開催日程：12 月 4 日（水）15:00～17:00

開催方法：対面とオンラインのハイブリッド

説明者：国交省 広島西部山系砂防事務所、県 広島県砂防課、民間 (株) エイト日本技術開発
・九州支部：幹事校 九州大学 (仮) (未実施)

定期的に部会を開催した。

- ・令和6年7月8日 (過去1年の活動、今後の予定 他)
- ・令和6年9月17日 (酒田市・鮭川村の災害対応)
- ・令和6年11月18日 (能登半島地震報告会の開催準備について)
- ・令和6年12月2日 (能登半島地震報告会の開催準備について)
- ・令和7年1月10日 (能登半島地震報告会の開催準備について)

(6) 砂防技術推進機構関係

1) 令和6年度第1回企画・運営委員会 (第1回試験委員会)

開催日時：令和7年1月23日 (木) 13:30~15:30

開催方法：web 会議方式

議題 (1) 令和6年試験、更新講習の結果報告

(2) 昨年の判定小委員会で議論した反省点及び改善点

1) 今後の方向

2) ポスターのデザイン 配布先

(3) 令和6年試験の執行収支

(4) 令和7年資格試験のスケジュール

(5) 資格の活用

(6) 砂防技術推進機構の体制案

2) 令和6年 砂防・急傾斜管理技術者試験 試験判定小委員会

令和6年1月から10月末まで10回開催

3) 令和7年 砂防・急傾斜管理技術者試験 試験判定小委員会

令和7年1月から3月末まで5回開催

報告事項

第2号報告

令和7年度事業計画の報告の件

令 7 年度（公社）砂防学会事業計画

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

基本方針

砂防学の進歩，砂防事業の発展，並びに砂防技術者の資質の向上を図り，もって国土の保全，国民生活の安全，学術文化の進展と社会の発展等に寄与することを目的とする。

令和 7 年度においては，以下の事業を推進する。

- (1) 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及
- (2) 砂防に関する研究及び調査の助成
- (3) 砂防に関する研究発表会，講演会，講習会等の開催及び見学視察等の実施
- (4) 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
- (5) 会誌及び砂防に関する図書，報論文，資料等の刊行
- (6) 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開
- (7) 砂防の発展に資する学術国際活動
- (8) 砂防技術者の育成
- (9) 砂防技術者の資格付与と教育
- (10) その他この目的を達成するために必要な事業

事業計画

1. 砂防に関する調査・研究ならびに奨励と普及

(1) 調査・研究

- 1) 災害調査の実施
- 2) 気候変動により激甚化する土砂災害に関する研究の実施

(2) 表彰

- 1) 令和 7 年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「技術賞」）受賞者の表彰。
- 2) 令和 8 年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「技術賞」）受賞者の決定。

(3) 広報活動

- 1) 広報委員会活動として，会員増に向けての対応，学会活動の充実，学会ホームページ，メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

(4) 地域の特徴を生かした活動の推進

北海道、東北、関東、信越、東海、関西、中四国、九州 8 支部が地域の特徴を活かした学会活動を行う。

2. 技術者資格の付与と教育

砂防・急傾斜管理技術者資格試験は、一次試験を6月28日（土）に仙台、東京、長野、京都、福岡の5会場で実施し、二次試験を9月27日（土）に京都会場、福岡会場で、10月4日（土）に東京会場で実施する。

3. 調査・研究に対する助成

- (1) 「若手研究助成」による研究技術開発、ワークショップ活動の助成
- (2) 「公募研究会」による研究会活動の助成
- (3) 「海外学術情報収集・調査助成」による研究者の海外活動の助成、

4. 研究発表会、講演会、講習会の開催

- (1) 研究発表会を以下の日程で開催する。

研究発表会 開催日 令和7年5月28～30日 長野市にて開催

- (2) 学識経験豊かな学会員による講演会を開催
- (3) 能登半島地震、豪雨災害による土砂災害緊急調査結果等についての報告、講習会を開催する。

5. 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申

必要に応じ、調査・研究結果に基づく砂防に関する提言を行う。

6. 会誌等刊行

- (1) 砂防学会誌 Vol. 78, No. 1～No. 6 までの6冊の発刊、英文誌 Vol. 18 を Web 掲載。
また、砂防学会誌 Vol. 77 および英文誌を J-Stage に公開する。
- (2) 令和7年度砂防学会研究発表会概要集をWEB上で公開する。
- (3) 調査・研究等の成果報告書を刊行する。
- (4) 能登半島地震及び豪雨災害調査報告、インドネシア共和国マラピ火山調査報告の掲載

7. 砂防関係図書および資料の収集・保管・公開

砂防図書・資料の保管整備、砂防図書館を充実する。

8. 学術国際活動

- (1) 国際交流会の開催
砂防学会研究発表会長野大会にて、留学生や招聘研究者と情報交換
- (2) 国際セミナーの開催

- (3) 国際研究交流助成（仮）の公募，審査，候補者を選考する。
- (4) 各種国際会議等の最新情報を砂防学会誌に掲載する。
- (5) 英語版ホームページの管理
- (6) インタープリメント 2026 の共催として準備を進める。
- (7) 砂防学会誌への用語解説コラムの継続

9. 砂防技術者の支援・育成

- (1) 技術者継続教育（CPD）への支援を行う。
- (2) 「若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会」等を開催する。
- (3) 「若手人材育成推進委員会」による就職説明会等を開催する。
- (4) 砂防女性技術者の会を開催する。

10. 支部活動

北海道，東北，関東，信越，東海，関西，中四国，九州支部において講演会，現地研修会等を実施する。

11. その他

令和7年度定時総会を6月に東京都内で開催する。

以上

報告事項

第 3 号報告

令和 7 年度収支予算の報告の件

令和7年度（公社）砂防学会 収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日（決算）まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度決算	前年度予算額	対R6予算増減	備考
I 一般正味財産増減の部					
経常増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	600	601	600	0	
基本財産受取利息	600	601	600	0	
受取会費	26,857,500	26,835,000	26,636,000	221,500	
正会員受取会費	16,962,500	16,973,000	16,900,000	62,500	
購読会員受取会費	1,104,000	1,095,000	1,152,000	△ 48,000	
学生会員受取会費	381,000	357,000	384,000	△ 3,000	
賛助会員受取会費	8,410,000	8,410,000	8,200,000	210,000	
事業収益	30,050,000	28,101,077	30,580,000	△ 530,000	
出版事業収益	8,000,000	7,329,827	7,000,000	1,000,000	
研究発表会開催収益	14,880,000	15,653,750	15,480,000	△ 600,000	
シンポジウム開催収益	0	0	0	0	
講習会等開催収益	2,400,000	1,124,500	1,800,000	600,000	
受託事業収益	2,970,000	2,002,000	4,500,000	△ 1,530,000	
資格認定事業収益	1,800,000	1,991,000	1,800,000	0	
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
受取民間助成金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
受取寄附金	100,000	0	100,000	0	
受取寄附金	100,000	0	100,000	0	
雑収益	200	62,735	200	0	
受取利息	200	11,985	200	0	
雑収入	0	50,750	0	0	
経常収益計	61,008,300	58,999,413	61,316,800	△ 308,500	
経常費用					
事業費	50,871,500	47,661,567	49,750,000	1,121,500	
給料手当	5,200,000	5,275,768	5,100,000	100,000	
福利厚生費	820,000	921,248	880,000	△ 60,000	
会議費	100,000	109,034	200,000	△ 100,000	
旅費交通費	620,000	634,550	750,000	△ 130,000	
通信運搬費	220,000	224,483	350,200	△ 130,200	
支払手数料	920,000	944,485	900,000	20,000	
消耗品費	30,000	34,396	50,000	△ 20,000	
印刷製本費	90,000	107,240	90,000	0	
光熱水料費	35,000	27,925	25,000	10,000	
賃借料	1,370,000	1,362,237	1,375,000	△ 5,000	
諸謝金	70,000	201,000	600,000	△ 530,000	
租税公課	50,400	2,200	50,400	0	
委託費	3,600,000	3,600,000	3,600,000	0	
総務部	20,000	82,656	120,000	△ 100,000	
研究開発部	20,000	0	50,000	△ 30,000	
編集部	400,000	302,048	400,000	0	
国際部	20,000	601,960	50,000	△ 30,000	
事業部	50,000	168,037	50,000	0	
出版事業	15,000,000	14,305,393	16,000,000	△ 1,000,000	
資格認定事業費	1,500,000	1,983,408	2,000,000	△ 500,000	
図書館運営費	1,100,440	1,100,440	1,100,000	△ 440	
研究発表会等開催費	15,080,000	10,479,300	11,140,000	3,940,000	
研究費	3,576,260	4,046,213	3,920,000	△ 343,740	
表彰制度運営費	130,000	162,397	130,000	0	
支部活動費	800,000	968,649	770,000	30,000	
北海道支部	100,000	155,206	100,000		
東北支部	100,000	12,545	100,000		
関東支部	100,000	245,392	100,000		
信越支部	100,000	281,643	100,000		

東海支部	100,000	12,450	100,000		
関西支部	100,000	26,733	100,000		
中四国支部	100,000	102,370	70,000		
九州支部	100,000	130,720	100,000		
雑費	49,400	16,500	49,400	0	
管理費	12,101,500	12,205,961	11,241,300	860,200	
給料手当	5,200,000	5,275,768	5,100,000	100,000	
退職給付費用	1,350,000	1,350,000	1,350,000	0	
福利厚生費	820,000	921,248	880,000	△ 60,000	
会議費	100,000	109,034	180,000	△ 80,000	
旅費交通費	500,000	471,391	600,000	△ 100,000	
通信運搬費	210,000	224,483	350,000	△ 140,000	
減価償却費	0	0	0		
支払手数料	910,000	939,576	1,890,000	△ 980,000	
消耗品費	30,000	34,396	50,000	△ 20,000	
印刷製本費	90,000	107,241	90,000	0	
光熱水料費	35,000	27,926	25,000	10,000	
賃借料	1,370,000	1,362,237	1,375,000	△ 5,000	
諸謝金	0	0	0	0	
租税公課	700,000	1,053,041	452,000	248,000	
役員改選費	500,000	0	0	500,000	
支払負担金	270,000	313,120	220,000	50,000	
雑費	16,500	16,500	29,300	△ 12,800	
経常費用計	62,973,000	59,867,528	60,991,300	1,981,700	
評価損益調整前当期経常増減額	△ 1,964,700	△ 868,115	325,500	△ 2,290,200	
評価損益等計					
当期経常増減額	△ 1,964,700	△ 868,115	325,500	△ 2,290,200	
経常外増減の部				0	
経常外収益				0	
経常外収益計	0	0	0	0	
経常外費用	1,840,000	1,350,000	1,350,000	490,000	
経常外費用計	1,840,000	1,350,000	1,350,000	490,000	
当期経常外増減額	△ 1,840,000	△ 1,350,000	△ 1,350,000	△ 490,000	
当期一般正味財産増減額	△ 1,964,700	△ 868,115	325,500	△ 2,290,200	
一般正味財産期首残高	72,591,541	73,459,656	73,459,656	△ 868,115	
一般正味財産期末残高	70,751,541	72,591,541	73,785,156	△ 3,033,615	

令和7年度(公社)砂防学会収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日(決算)まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法人会計		
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	600	0	0	600
基本財産受取利息	600			600
受取会費	24,643,800	2,213,700	0	26,857,500
正会員受取会費	14,927,000	2,035,500		16,962,500
購読会員受取会費	971,520	132,480		1,104,000
学生会員受取会費	335,280	45,720		381,000
賛助会員受取会費	8,410,000			8,410,000
事業収益	30,050,000	0	0	30,050,000
出版事業収益	8,000,000			8,000,000
研究発表会開催収益	14,880,000			14,880,000
シンポジウム開催収益	0			0
講習会等開催収益	2,400,000			2,400,000
受託事業収益	2,970,000			2,970,000
資格認定事業収益	1,800,000			1,800,000
受取補助金等	4,000,000	0	0	4,000,000
受取民間助成金	4,000,000			4,000,000
受取寄附金	100,000	0	0	100,000
受取寄附金	100,000			100,000
雑収益	200	0	0	200
受取利息	200			200
雑収入	0			0
經常収益計	58,794,600	2,213,700	0	61,008,300
經常費用				
事業費	50,871,500	0	0	50,871,500
給料手当	5,200,000			5,200,000
福利厚生費	820,000			820,000
会議費	100,000			100,000
旅費交通費	620,000			620,000
通信運搬費	220,000			220,000
支払手数料	920,000			920,000
消耗品費	30,000			30,000
印刷製本費	90,000			90,000
光熱水料費	35,000			35,000
賃借料	1,370,000			1,370,000
諸謝金	70,000			70,000
租税公課	50,400			50,400
委託費	3,600,000			3,600,000
総務部	20,000			20,000
研究開発部	20,000			20,000
編集部	400,000			400,000
国際部	20,000			20,000
事業部	50,000			50,000
出版事業	15,000,000			15,000,000
資格認定事業費	1,500,000			1,500,000
図書館運営費	1,100,440			1,100,440

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法人会計		
研究発表会等開催費	15,080,000	0	0	15,080,000
研究費	3,576,260	0	0	3,576,260
表彰制度運営費	130,000			130,000
支部活動費	800,000			800,000
雑費	49,400			49,400
管理費	10,286,275	1,815,225	0	12,101,500
給料手当	4,420,000	780,000		5,200,000
退職金給付費用	1,147,500	202,500		1,350,000
福利厚生費	697,000	123,000		820,000
会議費	85,000	15,000		100,000
旅費交通費	425,000	75,000		500,000
通信運搬費	178,500	31,500		210,000
支払手数料	773,500	136,500		910,000
消耗品費	25,500	4,500		30,000
印刷製本費	76,500	13,500		90,000
光熱水料費	29,750	5,250		35,000
賃借料	1,164,500	205,500		1,370,000
諸謝金	0	0		0
租税公課	595,000	105,000		700,000
役員改選費	425,000	75,000		500,000
支払負担金	229,500	40,500		270,000
雑費	14,025	2,475		16,500
経常費用計	61,157,775	1,815,225	0	62,973,000
評価損益調整前当期経常増減額	△ 2,363,175	398,475	0	△ 1,964,700
評価損益等計				
当期経常増減額	△ 2,363,175	398,475	0	△ 1,964,700
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用	1,564,000	276,000		1,840,000
経常外費用計	1,564,000	276,000	0	1,840,000
当期経常外増減額	△ 1,564,000	△ 276,000	0	△ 1,840,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,927,175	122,475	0	△ 3,804,700
一般正味財産期首残高	5,933,033	66,658,508	0	72,591,541
一般正味財産期末残高	2,005,858	66,780,983	0	68,786,841
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高	2,005,858	66,780,983	0	68,786,841